

どうぶつこうえんニュース

Chiba Zoological Park News

No.11



野鳥病院の鳥たち

The Wild Bird Hospital

蓮尾 嘉彪

千葉県行徳野鳥観察舎



「あれっ？ 飛んだよっ」 1月20日のこと。放鳥したアオサギは、左にかしいではいたけれど、確かに飛んで、20m幅の水路の対岸へ下りた。高圧線衝突、翼骨折という典型的なパターン。骨折部を固定したテープをとって1ヵ月以上たつのに、はばたきもしなかった。でも、雑居病室は満員、今日はここに新規入院のカワウに個室を明け渡したダイサギを入れなければならない。だから、お前は水路で餌をとれ、と放したものだ。水路では毎日細断した魚のあらを与えているので、ここに飛来する野生のセグロカモメやゴイサギ、アオサギに混じって次第に飛ぶ力を回復するだろう。

行徳野鳥観察舎は水鳥の保護区を見張らす一角にある。本来は保護区の管理と来館者の観察用の施設だった。ところが、「野鳥のための施設なんだから、きっとなんとかしてくれる」と、傷ついた鳥や迷子のひな鳥が野鳥観察舎に持ち込まれるようになったのはオープン後間もなく、今では年間250~300羽の鳥が、千葉ばかりか近県からも入院するようになった。

カラス類など、いわゆる「頭のよい」鳥のヒナは、野生に戻すのが難しい。順調に野生へのスタートを切ったオナガのヒナが1羽いた。放し飼い。自分で餌を探し、お腹がすくと戻ってきてねだる。夜は戸外で眠っていた。夏の暑い夜、ジェージェーという悲鳴にとび出すと、声は庭の8mもあるニセアカシアの枝先からで、懐中電灯で探す樹上から数m先に黒い影がどすっと落ち、そのまま静かになった。どうもへびにとられたらしい。その夜を境にオナガは帰って来なくなった。

小鳥店で没収された2羽のフクロウのヒナは、室内を飛び回るようになったので、窓を開けた。やがてフクロウは日中どこかで休み、夜になると2階の部屋に戻って来て餌を食べるようになった。暗い夜空にゴロスケホーコーの音がひびき、やがて2階の室内で餌皿を落とす、ごੱとという「ごちそうさま」の音が聞こえた。このフクロウに別れを告げたのは翌年の初夏。保護飼育中のかごが壊され、中のスズメとムクドリが食べられてしまった日から、部屋の窓は締めざるをえなくなった。

数年前に放鳥したコサギは、魚が捕れないと戻ってきては餌をねだるが、他のコサギを見ると徹底して追払うので、皆の非難を集めている。去年そのコサギが3羽のヒナを連れて観察舎に戻って来た。餌をねだるヒナに追いまわされ、やつれきったありさまは、気の毒というより、いささか痛快な光景だった。

目次

表紙・ペルシュロン	1
どうぶつと私(7) 「野鳥病院の鳥たち」	2
グラビア カリフォルニアアシカ	3
新春特別展 ウマ	4
写真コンクール入賞作品	5
飼育レポート アカリスの繁殖	6
動物公園の動物⑦	7
動物公園の施設⑦	7
動物公園日誌から	8
飼育よもやま話	10
健康管理センターから	11

表紙の動物説明

ペルシュロン

原産地は、フランスのペルシュロンという田地方で、東洋馬のすぐれた性質をうけつぐ古い品種です。

体高150~180cm、体重600~1,000kgの、がっちりした体格のウマです。

気質は非常に温和で従順ですが、活発で、ばんば馬、農耕馬として世界中で飼育されています。

現在のペルシュロンには大・小二つの型があり、毛色は芦毛(白毛)と青毛(黒色)が多いようです。

撮影：宮川千尋

動物飼育数

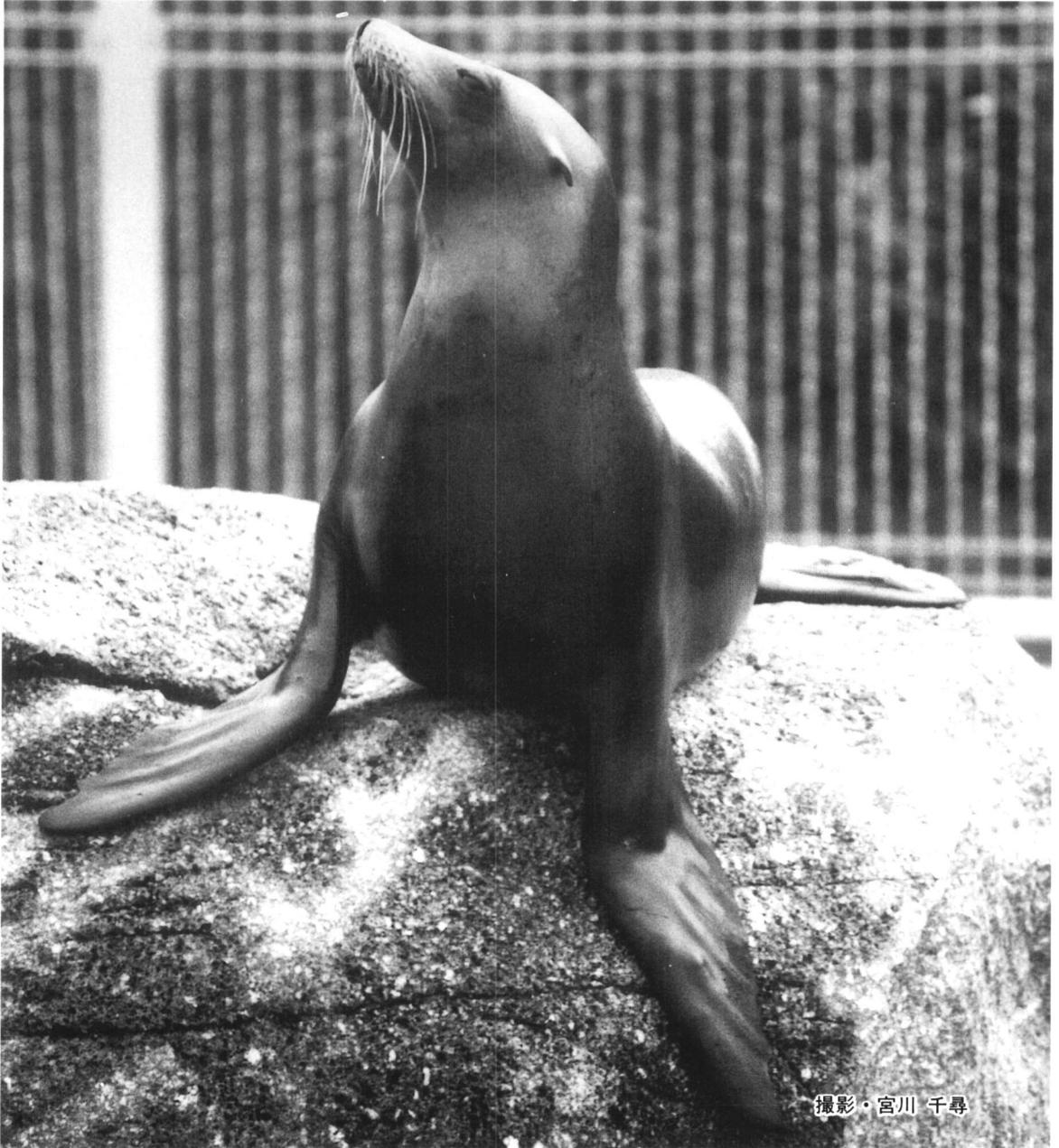
(平成2年1月31日現在)

哺乳類	78種	471点
鳥類	95種	424点
爬虫類	4種	22点
両生類	1種	3点
魚類	1種	2点
総計	179種	922点

カリフォルニア アシカ

Californian Sea Lion

ヒレアシ
鳍脚目 アシカ科



撮影・宮川 千尋

アシカの仲間は海に生活の場を求めた哺乳類のなかの代表的な動物で、世界中の海に広く分布していますが、海洋汚染の為多くの地域で絶滅の危機にあります。カリフォルニアアシカもそのひとつで、生息地であるアメリカ政府とメキシコ政府がきびしく環境を保護した結果危険な状態は脱したようです。動物公園では4頭飼育していますが、繁殖させ野生からの供給をしないようにしたいものです。（宗近 功 Isao Munechika）

新春特別展

ウマ

Horse

当動物公園では1月4日から31日まで、干支にちなんで、ウマの紹介やウマについてのクイズを行いました。ここではその一部をご紹介します。

〔ウマはどのように進化してきたか〕

ウマの進化は、始新世(5,500万~3,500万年前)のヒラコテリウムというイヌぐらいの動物が起源で、前肢に4本、後肢に3本の指がありました。

その後、鮮新世(700万~3,000万年前)に、子ウマぐらいのプリオhippsが現れたときには、指は1本になっていました。さらに鮮新世末期(約300万年前)には、現代のウマに近いエクウス(ウマ属)が北アメリカに出現したのです。

現在生存するウマの仲間はずべてウマ属に属し、家畜のウマを除いて7種しかいません。

〔現存するウマの仲間〕

(シマウマ亜属)

1. ヤマシマウマ
2. サバナシマウマ

(グレビーシマウマ亜属)

3. グレビーシマウマ

(ロバ亜属)

4. アフリカノロバ
- (アジアノロバ亜属)
5. アジアノロバ
6. キャン
- (ウマ亜属)
7. モウコノウマ

〔家畜のウマ〕

現在の家畜のウマの品種はすべてウマ属に属する二つの系統の子孫です。

一つは、アジア大陸中央部に分布していたモウコノウマで、現在もモンゴルやソビエトにわずかですが野生の状態で見残しているといわれます。もう一つはターバン(タルパン)でヨーロッパのほとんど全域とアジアの一部に生息していましたが、1,800年代に全滅してしまいました。

動物公園のウマたち



グレビーシマウマ



ハートマンヤマシマウマ



モウコノウマ



ベルシュロンドサンバ



シェトランドポニー



ロバ

■ウマについてのクイズ

もんだいⅠ

「ウマの前肢のひずめと、後肢のひずめの大きさは同じ?それともちがう?」

ウマの蹄は前肢の方が大きくて丸い形をしています。後肢の蹄は卵型でとがっています。これはウマの走り方と関係があり、前肢の蹄は体重をしっかり支えるため、後肢の蹄は地面を力強く蹴るために、地面にくいこみやすい形をしているのです。

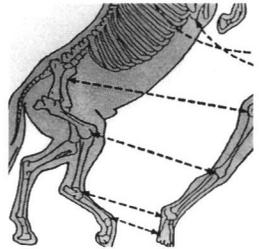
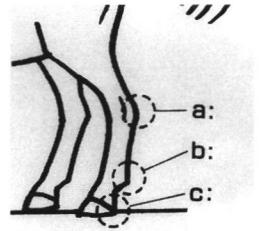
【正解】前肢の方が大きい

もんだいⅡ

「人間のかかとに当たる場所は、ウマではどこでしょう?」

どの哺乳類でもそうですが、姿は全く違っていても骨格は基本的に同じです。ウマと人間の骨格を比べてみると、人間の“かかと”に当たるのはウマの後肢の中程の位置に感じられます。

【正解】a



もんだいⅢ

「ウマの走りかたで正しいのはどちらでしょう?」

a. 4本の肢を交互にくりだして走る。



b. 4本の肢を前後にのびし、ジャンプするように走る。



ウマの走りかたは4本の肢を交互にくり出して走り、背骨をそれほどしなわせないで、長い距離を安定して走ることができます。

【正解】a

もんだいⅣ

「ウマが歩くときは、前後どちらの肢からふみだすでしょう?」

ウマなどの四つ足の動物が歩きだす時は、必ず後肢からです。例えばまず左後肢、次に左前肢、続いて右後肢、最後に右前肢という順番です。

【正解】うしろ肢

参考文献 「馬の科学」(競走馬総合研究所編)

「世界の動物」分類と飼育 東京動物園協会

動物公園写真コンクール入賞作品

PHOTO CONTEST



金 賞

矢野哲郎
「仲よし3兄弟」



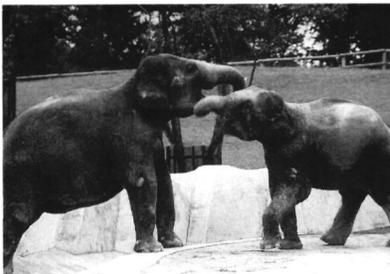
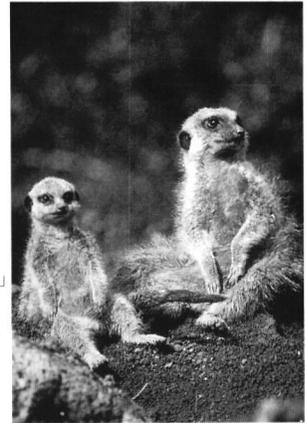
銀 賞

押田幸久

銀 賞

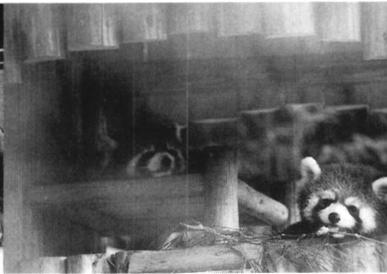
原 徹

「しま・しま・しま」「どっこいしょ!!」



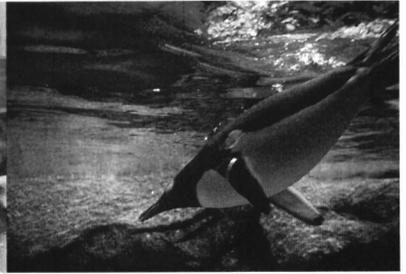
銅 賞

大橋清宏「仲よし親子」



銅 賞

渡辺義数「夏バテでも」



銅 賞

蔵田四郎「ペンギン」

動物公園写真コンクールが、平成元年8月1日～10月10日（展示は11月1日～30日）まで実施されました。

ここに掲載した作品は、金賞から特別賞までの7作品ですが、県内外の広い年齢層からよせられた、200点もの粒揃いの作品をすべてお見せできないのが残念です。

本年も、写真コンクールを開催いたしますので、たくさんの方々の応募を、お待ちしております。

特別賞

茂泉隆二
「野外学習」



アカリスの繁殖

Breeding the Red Squirrel

みなさん、コンニチワ！みなさんは、アカリスを御存じですか？ニホンリスと同じ位の大きさで、アメリカ産のリスなんです。体の色は淡褐色で、横腹の背中より赤褐色の帯様の縞があります。でも、腹側の毛は白、おまけに目のまわりにもよく目立つ白色の輪模様があって、とても可愛らしいのです。分布は、北はアラスカからロッキー山脈に沿って南はニューメキシコまで、また、アパラチア山脈に沿って南カロライナまで、広範囲にわたっています。

このアカリス、実は子ども動物園にもいるのです。オスが1頭とメスが2頭の計3頭、皆成熟しています。

昨年(1989年)の春、初めて仔が誕生しました。このうち1頭は巣立つ前に、もう1頭は後肢が不自由で、2頭共間もなく死んでしまいました。けれど、残った1頭はとても元気で、現在は親と分けて個別に飼育しています。

さて、その年の秋のことです。いつものようにリス舎へ掃除に行きました。普段から神経質なアカリスですが、舎内へ入ってもいっこうに姿を現わしません。いつもなら、ドアの開閉の音を聞いただけでビックリして飛び出てくるのに…。こんな状態が20日間ほど続きました。ひょっとしたら、飼育巣箱の中で死んでしまったのではないか…。そんな思いが頭の中をかすめました。1ヶ月くらいたったのでしょうか。10月の初め頃のこのです。いつものようにリス舎の扉を開けると…。ん？初めは自分がとうとう乱視になったのかと思いました。まるで、分身の術でも見ているかのようです。…6頭、6頭もいるのです!!やった!!繁殖したん

だ!!心の中でそう叫びました。巣立った3頭の仔は、春の仔以上に皆元気でした。肢が不自由なものは1頭もいません。よく見ると、親とは一まわりくらい小さいサイズで、鼻の頭が親と比べると若干黒っぽく、まるでいたずらっ子が墨を鼻の頭につけたかのようです。しかも、親は3頭共神経質で臆病なのに、この動物園生まれの3頭の仔は、人間に興味があるのか、金網越しに立っていると、かえってこちらに寄ってくるほどでした。

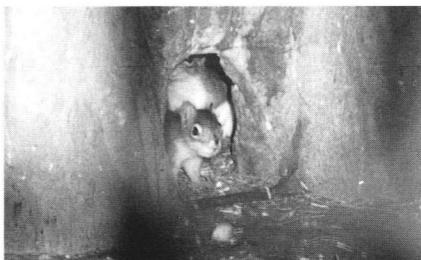
野生下では、好物のマツの種子や、四季折々に熟するたくさんの種類の種子や果実を食べています。そこで当園では、ヒマワリの種子や、麻の実、サフラワールの実を始め、リンゴ、煮たサツマイモ、生のサツマイモ、ニンジン、ミカン、バナナ、食パン等バラエティーに富む餌を各々少量ずつ与えています。

秋に子ども動物園を訪れたお客様は、ちょこんと座って食物を両手に持ち、一心不乱に餌を食べている仔リスを見ると、口々に「まあ、可愛い！」と、夢中でみつめていました。現在は、すでに生後4ヶ月を経過したので、近親交配を避ける為に親と離し、別飼いにしています。みなさんに御覧頂けないのが残念です。

なお、別飼いにするとき、よく確認してみると、なんと、もう1頭いるではありませんか。4頭の仔宝に恵まれていたのです。

このアカリスを飼育している別の動物園と協力し合い、これからも多くのアカリスの誕生が見られるように努力を重ねていきます。

(高橋 宏之 Hiroyuki Takahashi)



←巣穴から顔を出している所です。

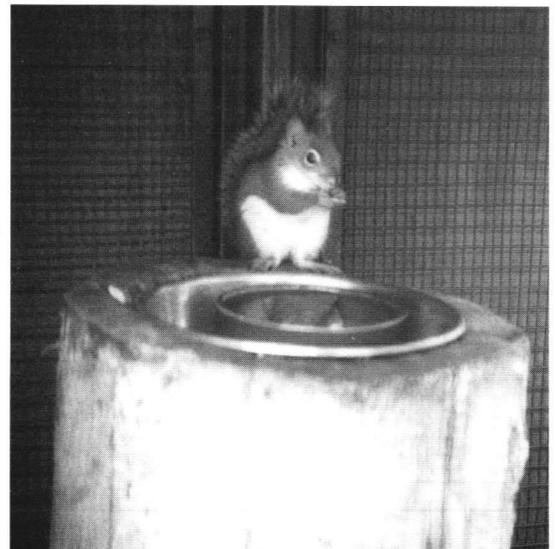
自分で餌を食べられるようになりました。→



巣箱の中です。



餌です。



動物公園の動物⑦

Animals in the Chiba Zoological Park

～チンパンジー～

Chimpanzee

チンパンジーはたいへん知能の高い動物です。アフリカ西部から中央部にかけて集団をつくり、複雑な社会生活を営んで生息しています。これらの集団は20～100頭ほどからなりメスは群れから離脱し、群れの間を渡り歩きますが、オスのほうは自分の生まれた集団から出ることはあまりないといわれています。

一般に8～10歳で性成熟し、メスは出産後3～4年は性的活動をしませんから出産回数は生涯のうち3～4回というところでしょうか。寿命は35～40年です。

1960年代にイギリスの女性科学者ジェーン・グドール(Jane Goodall)はタンザニアのゴンベストリームにおいて、野生のチンパンジーがアリの巣に枝をさし込み、アリを釣って食べる画期的報告をおこない、「道具を使用するサル」として世界の注目をあつめました。以来日本の学者らによっても詳細な報告がなされより確かな情報として定着しました。

また調査が進むにつれ、食肉行動(共食い行動)、木の実割り行動など貴重な報告も寄せられ、その知能の高さがあらためて認識されるようになりました。

千葉市動物公園には計6頭のチンパンジーが1つの



放飼場で飼われており、その中にはアリ塚、自己認識の手助けとなるステンレス製の鏡などが設置されています。観察していますと社会生活を営んでいる様子がこの小さな集団でも見受けられます。表情がとても豊かなのです。緊張、怒り、嬉しさなどコミュニケーションを大切にしている感じを強く受けます。人間でいえばケンケンゴウゴウの議論をたたかわしている場面にも出くわします。

グルーミング、プレゼンティング、物乞い行為、口唇行為、レスリング、追いかけてこ……等集団の中で学習し、そして大きくなってゆくののです。

このような集団の中で育っていく唯一のオス、推定年齢5.5歳(サンタ)は将来、きっと頼もしいリーダーとして他のメスたちを引っばってってくれることでしょう。(牧野 辰男 Tatsuo Makino)

動物公園の施設⑦

Facilities of the Chiba Zoological Park

～草原ゾーン～

Steppe Zone

これから紹介するアフリカ草原は、草原ゾーンの一隅に位置し、観客通路をはさんで2つのエリアに分かれています。共に丘と小川を配した広い放飼場に、アフリカに生息する動物達と一緒に展示しています。

では、アフリカ草原の個性豊かな動物達を紹介しましょう。

体の模様が網目状からその名がついたアミメキリンは、長い首を前後にふりながら歩きまわり、人なつこくて、顔が観客通路の人止め柵の1mの所まで寄って来ますので、チャームポイントの長いまつげと大きな目を、じっくりと見て下さい。思わず心が和むことでしょう。黒と白のストライプが絶妙なシマウマは、2種類います。シマウマのなかでは最も大きく、細かい縞模様が美しく、放飼場をわがもの顔で走りまわっているグレビーシマウマと野生下では山岳地帯に生息し、首の下に小さな肉垂れがあり、感情の起伏が激しいハートマンヤシマウマです。サーベル状のりっぱな角と旺盛な好奇心を持ちあわせているせいが一番トラブルを起こしているサーブルアンテロープは、今年の10月に生まれた仔が、両親について走りまわっているか



わいい姿が見られるでしょう。又顔面と尻部が白く、光沢のある紫がかった茶色の体色をしたボンテボックは、日本では当園でしか見られないめずらしい動物で、繁殖が期待されています。

以上あげた哺乳動物の他に、飛べないかわりに時速50kmで走ることでできる、体は大きいけど頭は小さいダチョウ、頭と首の皮膚が裸出し、冬は寒そうに首を縮めている草原の掃除屋アフリカハゲコウ、小さい体に似合わずダチョウにも向かっていく気の強さの持ち主ホオジロカムリヅル、翼の羽毛が非常に長く羽衣のように見えるハゴロモヅル、白い羽毛に覆われた肉垂れがあり、只今夫婦仲が悪いホオカザリヅルなどがいます。動物の種類と数が多いだけに、人間社会に似たいろいろなドラマが見られます。ゆっくりとご覧になって下さい。(佐藤 幹雄 Mikio Satoh)

動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'89年 8月1日～'90年 1月31日

- 8月1日 ヤギ(雄1・雌1)袖ヶ浦福祉センターへ
寄贈
- 8月3日 ベニバシガモ(雌1羽)行方不明
- 8月4日 フンボルトペンギン換羽中
- 8月6日 カンムリシギダチョウ死亡
- 8月7日 ジェンツーペンギン換羽中
- 8月11日 ゲルディモンキー(4頭)新着
" アフリカハゲコウ死亡
- 8月12日 獣医実習生受入れ(1名、～25日まで)
- 8月13日 ビグミーマーモセット繁殖(2頭)
- 8月14日 子供動物園ヤギ、ヒツジ全頭腰麻痺予防注
射を行なう
- 8月15日 飼育実習生受入れ(1名、～30日まで)
- 8月16日 アメリカアカリス死亡
- 8月20日 カモ類エクリプス換羽中。その他ツル、ヤ
ケイ等の鳥類も換羽中
- 8月21日 獣医実習生受入れ(1名、～9月30日まで)
- 8月26日 「動物公園ワンポイントウォッチング」開
催(オランウータン)
- 8月28日 バン1羽一般保護
" 獣医実習生受入れ(1名、～9月12日まで)
- 8月31日 マントヒヒ繁殖(1頭)
- 9月5日 動物愛護週間特別展示「アフリカの動物た
ち」開催(～30日まで)
- 9月6日 6月にふ化したアカコンゴウインコの雛巢
立する
- 9月10日 「動物公園お年寄りのつどい」開催
- 9月13日 フルートコウモリ死亡
- 9月17日 アオバズク1羽一般保護
- 9月19日 ミユビナマケモノ死亡
- 9月23日 「動物愛護週間特別講演」開催
- 9月25日 キジ、ヤマドリ全羽ニューカッスル予防注
射を行なう
- 9月27日 第77回関東東北ブロック動物園技術者研究
会開催
- 9月29日 マレーバク死亡
- 9月30日 「動物公園ワンポイントウォッチング」開
催(バードホール)
- 10月1日 特別展「家畜と人間」開催(～平成2年3
月31日まで)
- 10月2日 アクシスジカ(ヴィー)角が出始める
" ヒューストン市より1名来園(動物科学館
視察)
- 10月5日 アビシニアコロブス1頭動物交換で新着



- 10月5日 ヒドリガモ1羽補償で新着
- 10月6日 セマダラタマリン2頭、クロミミマーモセ
ット1頭、アビシニアコロブス動物交換で
搬出
- 10月8日 ゴイサギ1羽一般保護
- 10月9日 アメリカアカリス繁殖(4頭)
- 10月13日 アビシニアコロブス繁殖(1頭)
- 10月15日 「親と子の自然と遊ぶ教室」開催
- 10月17日 ゲルディモンキー展示開始
" 緊急保護のタカサゴダカ1羽死亡
- 10月19日 ハシビロコウ4羽新着
- 10月22日 ショウガラゴ繁殖(1頭)
- 10月23日 猛禽類、秋のニューカッスル予防注射を行な
う



- 10月24日 セーブルアンテロープ繁殖(1頭)
" ニシズキンエボシドリ死亡
- 10月26日 ベニイロフラミンゴ8羽動物交換で新着
- 10月28日 「動物公園ワンポイントウォッチング」開
催(プレーリードッグ)
- 10月30日 ケープペンギン換羽ほぼ終了
- 10月31日 ヤマシギ1羽一般保護
- 11月1日 一般保護のバン8羽東京都井の頭自然文化
園へ寄贈

11月1日 「写真コンクール」入賞者作品展（動物科学館1Fホール。～30日まで）

11月2日 ツクシガモ死亡



11月5日 「秋のZOOクイズラリー」開催

〃 アカハラ1羽一般保護

11月8日 フタユビナマケモノ死亡

〃 ヨーロッパフラミンゴ動物交換で搬出

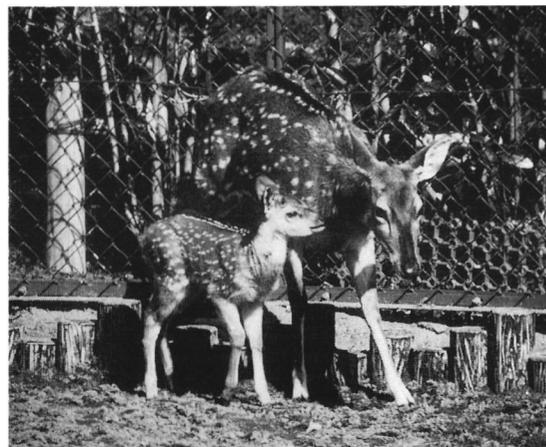
11月12日 「写真コンクール」表彰式及び記念講演会開催

〃 トラツグミ1羽一般保護

11月20日 ミニブタに豚コレラ、豚丹毒のワクチンを接種する

11月21日 ホシハジロ1羽一般保護

〃 ベニバシガモ死亡



11月25日 アクシスジカ繁殖（1頭）

〃 「動物公園ワンポイントウォッチング」開催（モウコノウマ）

11月27日 動物園技術者研究会全国大会へ出席発表のための予演会を開催

11月30日 スローロリス、モモアカヒメハヤブサ他8種13点の緊急保護動物をタイへ返還

12月2日 キュウシュウノウサギ死亡

12月3日 「動物公園クリスマスのつどい」開催

12月5日 ポト死亡

12月12日 デマレルーセットオオコウモリ5頭静岡市立日本平動物園より受贈

12月16日 セーブルアンテロープの仔（エイキチ）角1cm位伸びてくる



12月18日 カピバラ繁殖（4頭）

12月23日 クロミミマーモセット繁殖（2頭）

「動物公園ワンポイントウォッチング」開催（ミーアキャット）

12月24日 アカテタマリン繁殖（2頭）

12月25日 オセロット（雌1頭）、アオショウビン（1頭）東京都恩賜上野動物園に寄贈

〃 ミニブタ（雄1頭、雌1頭）フェニックス自然動物園に寄贈

12月28日 ビグミーマーモセット繁殖（2頭）

12月29日 カンムリヅル1羽、オシドリ2羽成田山新勝寺より受贈



1月7日 「新春もちつき大会」開催

1月8日 キタヤマドリ死亡

1月15日 「動物公園バードウォッチング」開催

1月27日 「動物公園ワンポイントウォッチング」開催（カワウソ）

飼育よもやま話

Animal Episode

エリマキキツネザル

Ruffed Lemur

“本当にサルなの。” “かわいい！パンダみたい。” このサルを見たお客さんからそういった声がよく聞かれます。突きてた鼻づらはサルというよりも、まさしくキツネといった顔だちですが、立派なサルの仲間なのです。

エリマキキツネザルはアフリカのマダガスカル島という所にのみ生息しています。全身白と黒のふさふさした体毛で覆われ、特に顔の回りにエリマキをまいたような房毛がはえているのでこの名がついたのでしょう。

エサは果物や野菜が主ですが、他のサルよりも小さく切って与えます。それは他のサルがエサを手で取って食べるのに対し、エリマキキツネザルは口から直接エサを食べるからです。午後3時を過ぎると、サルを屋外放飼場から屋内展示室に移し、その時エサを食べている様子が観察できるので、食べ方やエサの切り方、種類など、他のサルと比較して見るとおもしろいですよ。

その他このサルの特徴としては、そのかわいらしい容貌からはとても想像つかないような大きな声で鳴く



という事です。動物園中に響きわたるその声に、近くにいた人は驚き、離れていた人も“なに事か”と見にきます。しかも1頭鳴き始めると全頭がいっせいに鳴き出すのです。獣舎の中で鳴かれた時には、飼育している者にはたまったものではありません。

エリマキキツネザルは1年に1回、1頭から3頭の子供を産みます。野生では母親が出産前に枝と葉でそまつな巣を作り、そこで赤ちゃんを産むのですが、飼育下では出産の1ヶ月前に寝室に巣箱を設置してあげると、ちゃんとその中に産んでくれます。今年も5月頃には皆さんにかわいい赤ちゃんをお見せすることができますでしょう。

(伊藤 泰志 Yasushi Itoh)

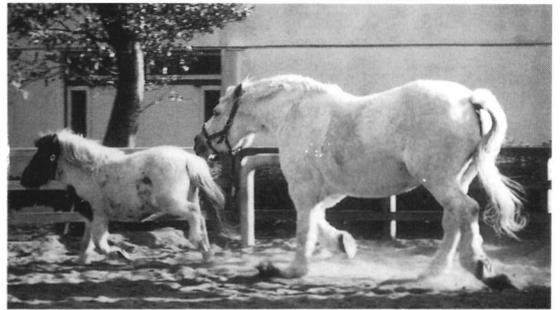
子供動物園のウマたち

Horses in the Children's Zoo

子供動物園に入ると、一番奥の方に見えるのが、子供牧場です。牧場には、ミニブタ、牛、そして今年の干支の馬がいます。

牧場の馬の中で一番体が大きくて白い馬が、フランス原産のベルシュロンです。この馬の次に体の大きい馬が日本原産の道産子(北海道和種)で、一番体の小さい馬がイギリス原産のポニーです。そして、その中で一番強い馬は、オスの道産子です。このオスの周りに、メスの馬やポニーのオスが近づいてくるとオスの道産子は、メス達の顔をかんだり、頭絡をかみ切ったりします。オスのポニーは道産子のオスをからかうのか、首の周りをかみにいきますが、すぐに反撃されて逃げてしまいます。このポニーは、オスの道産子だけでなく、メスのベルシュロンやメスの道産子にも攻撃しに行きますが、体が小さいためか負けてしまい、逆に顔や体をかまれて血を出していることがよくあります。

ポニーが、ベルシュロンをからかいに行つて逆においかけて目を丸くして逃げまわる光景を見ることがあります。逃げ方も木柵にぶつかりそうなきおい



で走りますが、いつも木柵とベルシュロンの間にはさまれて逃げられなくなり、じっと動かずに目をキョロキョロさせるばかりです。このオスのポニーの行動は、とてもゆかいなものです。

馬は、耳をじっとさせていることはほとんどありません。ふだんの耳は、ほぼ直立で前方や外側をむいています。緊張した時やびっくりした時は、ぴんと立て、疲れている時は、水平に寝かし、恐怖にかられている時は、びくびく動き回します。又、攻撃的になっているときは、頭の後につけます。この様に馬の耳で馬の精神状態を知ることができます。

馬の小さなしぐさを理解することができれば、馬はもっと人間に身近な動物になってくれると思います。

(鈴木 克典 Katsunori Suzuki)

健康管理センターから

From the Animal Health Center

動物園の小さな魔法使い

A Small Magician in the Zoo

動物園の獣医をやっていると魔法を使えたらいいなと思うことがよくあります。私が指を一本振るとどんな病気やけがもさっと治ってしまったら、いいえせめて、ゾウやキリンが検査や治療をしている間すやすやと眠っていてくれたら、と思うのです。でも実際には動物とにらめっこしながらいったいどこが悪いのだろうと頭を抱え、そしてどうやって治療するのが一番いいのか悩むのです。ドリトル先生ではない私には、「ちょっとしばらく我慢していてくれれば明日にはずっと楽になるよ」と伝えることができず、彼らは何をされるのかと必死になって逃げまどうからです。

でもこんな私にも使えるちっちゃな魔法があります。ハトやニワトリを仰向けにしたことがありませんか？。鳥の中には仰向けにされるとじっと動かなくなってしまうものがあるのです。写真のエジプトハゲワシは足が腫れ上がってしまう趾瘤症という病気の治療中ですが、仰向けにされると猛禽類の特徴である強い嘴や足の爪を使おうともせずにじっとしてしまふ性質を利用して、麻酔したり押さえつけたりしないで小さな切開をしたり洗浄をしたりできるのです。毎日毎日、包帯をとって傷を洗って消毒して薬をつけてまた包帯しての繰り返しですがおとなしくやらせてくれます。注射をしてもびくりとも動きません。さすがに2週間もす



ると仰向けにも慣れたのか少しモゾモゾするようになりましたがまだまだ十分に治療できます。

この魔法は残念ながらごく限られた鳥類にしか利きません。タチョウや（あの大きなタチョウをエイヤッと仰向けにしてみたことはありませんが）ツル、ペンギン、インコ、小鳥などには利かないようです。小型哺乳類では仰向けにすると少しの間じっとしてることがありますが、治療ができるほどではありません。この違いは平衡感覚器官の構造の差によるものと思っていますが、詳しいことはわかりません。

黙って座ればびたりと当たるような魔法使いになりたいと夢を見ている毎日です。

（米田 久美子 kumiko Yoneda）

平成2年度行事予定

時期	行事名	内	容
春	愛鳥週間記念行事 羊の毛刈りと紡毛教室 動物を計る会	愛鳥週間にちなんだ講演を行います。 羊の毛刈りの実演と紡ぎ方教室を行います。 計量の日になんで動物の重さなどのクイズを行います。	
夏	サマースクール 動物愛護標語募集	体験学習の一環として、1日飼育体験を行います。 動物愛護にちなんだ標語を募集します。	
秋	敬老の日記念行事 クイズラリー 動物公園写真コンクール	敬老の日を記念し講演を行います。 園内の動物のクイズを行います。 園内の写真コンクールと入選作品の展示を行います。	
冬	新春特別展 バードウォッチング ゆかいな森の音楽会	干支にちなんだ動物をパネルで紹介します。 園内の野鳥や飼育展示中の鳥の観察を行います。 動物たちの泣き声や生態を楽器で演奏する音楽イベントを行います。	
通年	動物映画会 ワンポイントウォッチング 特別展「家畜と人間」	動物について楽しく理解していただくため上映します。（日・祭日・春・夏休み中） 飼育係による動物のワンポイントガイドを実施します。 家畜と人間の生活をパネルで紹介します。	



コガタフラミンゴ